

米国心臓病学会 2019 にて発表

私は、2019年11月16日から18日にアメリカのフィラデルフィアで開催された The American Heart Association's (AHA) 2019 Annual Scientific Sessions に参加しました。AHA 2019 Scientific Sessions は循環器領域の中で世界最大の国際学会の一つであり、世界中の最先端の循環器疾患及び薬物療法に関する研究が数多くなされていました。

自身の研究テーマである「The 5HT_{2A} Receptor Antagonist Sarpogrelate Suppresses Pressure Overload-induced Development of Heart Failure in mice」について、発表を行いました。発表内容としては、抗血小板薬として既に臨床で使用されているセロトニン 2A 受容体アンタゴニストであるサルポグレラートがセロトニン 2A 受容体非依存的に培養心筋細胞肥大を抑制し、さらに圧負荷誘導性の心不全モデルマウスにおける心不全の進展を改善することが示唆されました。AHA 2019 Scientific Sessions は基礎研究から臨床研究まで幅広い研究発表が多くなされており、自身の研究にも関連するものが多く、とても勉強になる良い機会であり有意義な時間でした。

静岡県立大学薬食生命科学総合学府 薬学専攻 博士課程2年
分子病態学講座 清水果奈

関連リンク：静岡県立大学 分子病態学教室 <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/byoutai/>

